

平成27年6月3日

No. 41

# 日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

## 授業支援・助川小学校

### 4年「校庭の樹木」

5月29日(金)、助川小学校で実施した支援授業を紹介します。助川小学校では、環境教育の取り組みとして、総合的な学習の時間を活用して「校庭の樹木」を学習しています。昨年度も実施したのですが、あいにくの雨のため、写真を使って説明をしました。今年は、天気も良く、玄関先のクロマツ(助川小創立100周年を記念して植樹)を初め、特色のある樹木を実際に見ながら、説明を加えていきました。6年前の4年生が、同じように取り組んでいて、そのとき、樹木のネームプレートを板に書き込んで取り付けています。針金が樹木の幹に食い込んで、しっかりと固定している様子に、歳月の流れを感じました。ネームプレートのある樹木を中心に、花や葉の様子、名前のいわれなど、特徴を述べていると、児童たちは、熱心にメモを取り、これから自分で調べる樹木を中心に積極的に質問をするなど、とても意欲的でした。

助川小学校の代表的な樹木は、

#### 助川小の校庭にあるネームプレートの付いている樹木

サクラ・ケヤキ・プラタナス(鈴掛の木)・オトメツバキ・  
スダジイ(シイの木)・ヤナギ・ポプラ・サルスベリ(百日紅)・  
ニセアカシア(ハリエンジュ)・ローリエ(月桂樹)・ユズリハ・  
キンモクセイ(金木犀)・モクレン・コブシ・アンズ(杏)・  
トチノキ・ボケ・ザクロ・サンゴジュ



何と云っても、四代桜です。校庭をぐるりと囲むように、約90数本のソメイヨシノと枝垂桜数本が植えられていて、その中のソメイヨシノの1本が「四代桜」です。「明治・大正・昭和・平成」の四代を



生きてきた桜で、ある種の風格を感じさせる老木です。この桜は明治38年(1905年)に日露戦争の戦勝記念として

当時の高鈴尋常小学校(助川小学校の旧名称)に数本植栽された内の一本とされています。明治・大正・昭和の三代にわたって子どもたちを見守ってきたことから昭和44年、当時の学校関係者により「三代桜」と命名されましたがその後、平成に入り「四代桜」と改名され現在に至っています。久慈小学校の3本のケヤキも久慈小学校の代表的な樹木で、同じように日露戦争先勝記念で植栽されています。

それぞれの学校の樹木には、その当時の歴史と母校への想いが込められていることが多いです。児童たちが、身近な校庭の樹木を通して、自分たちの学校の歴史や、環境の変化を感じ取ってくれたらと思います。



文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 Tel/FAX 0294-24-3104